

報道関係者各位

2014年5月12日

インターナショナル SOS:
拡大する中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)
感染回避のための企業向けサポート

インターナショナル SOS は、現在拡大傾向にある中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)の感染回避のためにメンバーシップを保有する企業に向けてアドバイスをを行っています。

世界中 27 箇所に拠点を置くインターナショナル SOS のアシスタンスセンターのうち、ドバイセンターではこの 2 週間で受けた電話の 5%が コロナウイルスに関する情報を求める内容で、多くは、コロナウイルスの最善な感染予防について具体的な情報を求めるものでした。

インターナショナル SOS ジャパン メディカル・ディレクターである安藤裕一医学博士は次のように語っています。

『2014 年 4 月に発生したコロナウイルスの急増に従い発生地域に居住する駐在員や出張者への注意義務を満たすため必要な感染予防策を進めている企業が増加しています。

現時点ではコロナウイルスはヒトからヒトへ簡単には感染しないというのが当局の見解です。しかしインターナショナル SOS のメンバーシップを保有する企業は爆発的な流行に備えた事業継続プランとパンデミック対策プランを積極的に検討しています。

当初「新型コロナウイルス」と呼ばれた中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)のヒトへの感染は 2012 年に初めて報告されました。このウイルスは、重症急性呼吸器症候群(SARS)と同じコロナウイルス属に属しています。患者のほとんどは中東から発生しており、ラクダからの感染が示唆されています。このウイルスに直接作用する治療薬も有効なワクチンも現時点では開発されていません。

インターナショナル SOS は、世界各国で発生する感染の状況を毎日確認しており、また最新のテクノロジーを駆使して発生地域にいる企業の社員の人数をモニターすることにより最新の情報を必要とする方々に有効な情報の提供を行っています。』



インターナショナルSOSについて(www.internationalsos.co.jp)

インターナショナル SOS は、世界最大手のメディカル&トラベルセキュリティアシスタンス企業です。

世界 89 カ国 700 カ所にわたる拠点から、グローバルに活躍する顧客企業をサポートしています。

1,200 名の医師及び 200 名のセキュリティ・スペシャリストを含む 11,000 名以上の従業員が、日夜アシスタンスに従事しており、そのプロフェッショナルな専門知識は他の追随を許しません。

インターナショナル SOS は広範囲なリスクに対する予防プログラムと、緊急事態における厳しい環境下でのサポートを他社に先駆けて提供してきました。顧客企業が世界中どこでも『従業員の健康と安全』を実現いただけるよう、全力を挙げてサポートしています。

<本件のお問い合わせ先>

インターナショナル SOS ジャパン株式会社

セールス&マーケティング本部

住所: 〒107-0052 東京都港区赤坂 4 丁目 2 番 6 住友不動産新赤坂ビル 11 階

電話: 03-3560-8400

tokyosales@internationalsos.com

<http://www.internationalsos.co.jp>